

校名：鳥取大学附属小学校

所在地：〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 電話番号：0857-31-5171

記載日：2016年5月19日 記載者：松本洋介

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

○・豊かな体験活動の取組（学校シリーズ）

- ・旅の学校（6年）：広島、姫路を中心にした地理・歴史・平和学習
- ・雪の学校（5年）：氷ノ山でのスキー教室
- ・森の学校（4年）：氷ノ山登山・宿泊体験
- ・砂の学校（全校）：砂丘でのミニ運動会
- ・実りの学校（全校）：1年間の学習の成果発表

○・国際理解教育

- ・外国語活動（全校）
- ・韓国春川教育附設初等学校との交流

○・連携と交流

- ・附属幼稚園との交流（1年）
- ・附属特別支援学校との交流（2年）
- ・地域や大学各学部との連携

貴校の卒業生の活躍状況について：

- ① 追跡調査はしていない。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ① 追跡調査はしていない。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

- ・大学の人的・物的資源を活用したキャリア教育
- ・幼小連携部会・小中連携部会（教科・領域別小部会）の取組
- ・上学年における部分的な教科担任制の導入

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

- 附属学校部における研究と地域の学校現場が抱える教育課題のすり合わせを行ったり、毎年研究発表大会を行ったりして、地域の学校にとって必要とされる学校であるとする。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

- 現在鳥取県では、教職員の大量退職時代に入り、世代交代が急速に進む状況の中で、教職員の確保、有能な人材の育成は急務である。このような状況の中で、附属学校が担っている教育実習は大変重要かつ行わなければならないものである。大学教官との連携が密にできるとともに、実習のノウハウが蓄積・引き継がれており、鳥取県を中心とする教育界にとって、本校の存在意義は大きい。
- 大学と連携しやすいという環境を活かし、児童が学習活動をとおして、大学の様々な方と関わる中で、地元の大学の良さを実感し、将来地元で活躍したいと思う環境づくりの一助と

以下、このページいっぱいまで、ご自由にお使いください。